

申  
2  
号

## 2022年度賃金引き上げ等に関する申し入れ

### 第1回団体交渉を行う!!(その1)

3月15日、賃金引き上げ等要求の趣旨について、  
会社に説明し満額回答を要求しました!



- ・大幅なコストダウンに伴う受託契約額の見直しによる営業収益の減収などにより、JR東日本の決算に大きく影響された結果として、第3四半期決算では減収減益になった。
- ・2021年度第2四半期決算の概要では、純利益の通期予想は1600万円の黒字であったが、今決算では2億1100万円減の1億9500万円の赤字へ下方修正を行っている。社員への説明も一切ない。
- ・2年以上にわたる新型コロナウイルス感染症の恐怖は、今もなお収束の見通しがついていない。これまで以上に清潔・安心を高め、お客さまへのサービス提供を行うため組合員一人ひとりが自己管理を徹底してきている。
- ・「サポートコールシステム」の被制御駅の拡大や「話せる指定席券売機」の設置駅拡大、チケットレス化による、携帯の操作方法など不慣れな方への対応などに追われている。
- ・一人ひとりの業務量は年々増加しており、まさに私たちが、各種施策を担いつくり出している。
- ・物価の上昇が止まらず、「年末手当も減少し、生活が苦しい」「物価上昇もあり、これからの生活が続けていけるか不安だ」との声など、これまで以上に生活に対する不安の声があがっているのが現状だ。
- ・入社数年の社員が残念ながら辞めてしまっている現状もあり、人材の確保と定着ならびに人材育成と技術継承を労使の共通認識とするべきだ。
- ・お客さまに信頼される企業づくりに努力してきた組合員の苦勞とモチベーション向上のためにも、会社は私たち組合員に基本給として反映させ、引上げるべきだ。

## 具体的な要求項目の趣旨

### 1. 2022年度4月1日以降の JR 東労組組合員の基本給を一律6,000円(定期昇給を含まない)引き上げること。

2年以上にもおよぶコロナ禍で、各種施策が進む中でも私たち組合員は、お客さま案内に奮闘し続けており、労働実感や生活実感の観点から基本給を一律6000円あげるべきだ!

### 2. 定期昇給を実施すること。その場合の昇給係数は「4」とすること。

業績に左右される性質ではなく、定期昇給による年功賃金を維持し、賃金維持分を確保することは会社の使命である! 昨年同様に定期昇給を完全実施するべきだ!

### 3. 各等級の所定昇給額を増額すること。

人事・賃金制度が2018年度から実施となり、定期昇給が行われるようになったが、その昇給額の低さから、離職・退職する社員が多く、魅力ある会社にするために増額するべきだ!

### 4. 回答については、2022年3月31日までとすること。

私たちの声と現実を受け止め熟慮して、満額回答するべきだ!

**組合員の努力と苦勞に報いるために、満額回答するべきだ!**